

豪華な世界で登城者を魅了 華のおもてなし in 松山城



平成27年12月8日から25日まで「華道家 假屋崎省吾の世界」が開催され、假屋崎省吾の作品が多くの人を魅了。松山城天守の登城者が前年同時期の約3倍になるなど、冬の松山城は多くの人でにぎわいました。

松山
こんにちは



華道家
かりやざき しょうご
假屋崎 省吾さん

1958年生まれ。東京都出身。園芸好きの両親の影響を受け、幼いころから花に興味を持つ。着物やガラスの器のデザイン・プロデュースをはじめ、花と建築物のコラボレートとなる個展「歴史的建築物に挑む」シリーズも展開。またテレビ・雑誌・新聞など幅広い分野でも活躍中。

本市を訪れた假屋崎省吾さんにお聞きしました。

■松山の印象は

松山とはいけばなの支部がある関係で30年ほど前からの付き合い合になり、来るたびに松山の良さを実感しています。市民の皆さんが温かく、海産物が美味しい、またレトロなお店が多いので、日常的に俳句をたしなんでいる、粋な生活をされているイメージがあります。

■松山城とコラボレーションすることになったきっかけは

父の影響で幼いころからお城に興味がありました。重厚な石垣や屋根瓦、天守に到達するまでの工夫など、いろいろな所を感じる風情が大好きです。夢であった「お城にいけること」を決めたとき、来るたびに良さがわかる魅力が尽きないお城であること、また作品を個々になく全体で

体全体で感じられるのが華の最大の魅力

父の影響で幼いころからお城に興味がありました。重厚な石垣や屋根瓦、天守に到達するまでの工夫など、いろいろな所を感じる風情が大好きです。夢であった「お城にいけること」を決めたとき、来るたびに良さがわかる魅力が尽きないお城であること、また作品を個々になく全体で見られる連立式であることから、第1回は松山城でしたいと直感で思いました。

■華の魅力は

お華をいけるということは、自然が生み出した華の「美」に、私たちが加えて「新しい美」を生み出すというところ。華は生きているので刻一刻と変化していますし、私たちにエネルギーを与えてくれます。その生命力や、形・色・香りなどの美しさを、五感を使って体全体で感じられるところ。華の最大の魅力だと思います。

■市民にメッセージを

松山城や道後温泉など、松山には世界に誇れる素晴らしいものたくさんある。これらを大切に未来へ受け継ぎながら、もっとアピールしてほしいです。

華と流木の共演がすてき



玉井ヒトミさん・武夫さん
(左から。西条市)

テレビで假屋崎さんのお華を生けているのを見て、ぜひ生で見たいと思いつ夫婦で来ました。華のきれいな、優美さと流木のダイナミックさ、力強さの共演がすてきでした。

庄巻の世界観



堀尾聡介さん・紗世ちゃん・淑恵さん
(左から。東石井五丁目)

假屋崎さんの作品を見ようと、結婚式の前撮り以来の登城でした。存在感があるのに目立ち過ぎない華々が織り成す世界は、自分が想像もできないものでした。

読者プレゼント



假屋崎省吾さんのサイン色紙を抽選で3人にプレゼント

応募先 〒790-8571 シティプロモーション推進課「假屋崎省吾プレゼント」係

はがきに郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号、広報紙への意見を書いて、2月29日(必着)までにお送りください。当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。